

題材名「十津川杉で曲げわっぱ制作」

学校	県立十津川高校	氏名	安平次 直人	科目	木工芸基礎	学年	I	時間	20
----	---------	----	--------	----	-------	----	---	----	----

1 題材の目標

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。〔共通事項〕 ・曲げわっぱの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表す。「A表現」(1)イ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う人の心情や生活環境から生活を心豊かに演出する曲げわっぱを身近な生活の視点に立って発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練る。「A表現」(1)ア ・身近な生活の視点に立って、曲げわっぱの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と曲げわっぱの制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める。「B鑑賞」(1)ア(ア) <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に身近な生活の視点に立って使う人の心情や生活環境から生活を心豊かに演出する表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に身近な生活の視点に立って作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の願いや制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
--

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>技 曲げわっぱの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表している。</p>	<p>発 使う人の心情、生活環境から生活を心豊かにする曲げわっぱを身近な生活の視点に立って発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練っている。</p> <p>鑑 身近な生活の視点に立って曲げわっぱの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と曲げわっぱ制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 主体的に身近な生活の視点に立って使う人の心情、生活環境から生活を心豊かにする表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 主体的に身近な生活の視点に立って作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

3 主な題材の学習内容と評価

学習のねらい、学習活動 ※「●」は、学習のねらい、「・」は、学習活動	評価方法
<p>1.導入、作品鑑賞(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秋田県大館曲げわっぱの動画や実物の曲げわっぱ等から作者の意図と制作における工夫や素材の生かし方について考え、見方や感じ方を深める。 ・大館曲げわっぱの動画や実物の曲げわっぱを鑑賞し、身近な生活の視点に立って感じたことや作者の心情や意図と制作過程における工夫などについて考えたことなどから根拠をもって批評する。 <p>●造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の意図と制作過程における工夫や素材の生かし方などから形や色彩、素材などの性質やそれが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 <p>2.発想や構想(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用用途や場面を考え、心豊かな発想をする。 ・曲げわっぱを使用する様々な場面を想像し、使用する人の心情、生活環境などから心豊かな発想をする。 <p>●機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、素材などの効果や、全体のイメージ、曲げ技法の特徴などについて考え、使用する人や場などに求められる機能と美しさの調和などのコンセプトについてワークシートに整理したり、アイデアスケッチや図面を描いたりして制作の構想を練る。 	<p>(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な視点に立って曲げわっぱの造形的なよさや美しさを感じ取ったり、作者の心情や意図と制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考えたりして、見方や考え方を深めているかどうかを評価する。主体的に曲げわっぱを鑑賞して、造形の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や意図と制作過程における工夫や素材の生かし方について考えようとするなど、の学習に取り組む態度を評価する。 <p>【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p> <p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の学習活動を通して、作者の意図と制作過程における工夫などから、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えていることを理解しているかを見取る。【発言の内容、ワークシート】 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲げわっぱを使う人の心情、生活環境などから心豊かな発想をし、使用する人や場などに求められる機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練っているかどうかを暫定的に評価し、第三次(3.制作)で再度評価を行う。 <p>【ワークシート、アイデアスケッチ】</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>主体的に発想や構想の活動に取り組む、造形の要素の働きや、使う人の心情などから全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、心豊かに発想したことをよりよく表すために制作の構想を練ろうとする態度を評価する。</p>